



まちの話題



絵札に手を伸ばす児童たち（高学年決勝の様子）



地域の魅力を確認

郷土カルタ選手権大会は1月13日、中央生涯教育センターで開催されました。同大会は、町内各地域の自慢やお宝が書かれたカルタを使用し、子どもたちの郷土理解と、愛着を持って生活してもらおうと毎年開催。低学年、中学年、高学年の部の3部門が行われ、児童たちは真剣な眼差しで絵札に手を伸ばしていました。高学年の部で優勝した高橋筑碧さん（第一小6年）は「初めての優勝でとてもうれしい。カルタで地域のことを少し知ることができた」と笑顔で話していました。

県警音楽隊の演奏にあわせ校歌を歌う児童たち



音楽で学ぶ犯罪予防

永岡小学校では1月24日、県警音楽隊を招き「永岡小学校安全安心コンサート」を開きました。コンサートには、児童の他、地域住民も訪れ県警音楽隊の演奏に魅了されました。同コンサートは今年で3回目の開催。音楽に合わせて詐欺や交通安全の基本知識を伝えたほか、寸劇で「知らない人についてはいかない」など犯罪予防につなげました。青木夏音さん（6年）は「音楽に合わせたソーラン節が迫力があってすごかった。交通安全にも気をつけたい」と話していました。

EMせっけんを寄贈

町生ごみ堆肥化活用普及研究会は1月31日、廃油を活用したEMせっけん170個を町内教育施設に寄贈しました。EMせっけんは環境にやさしい素材で手洗いや清掃などに使われます。同研究会佐々木恒雄会長は「環境教育の一環として役立ててもらい、金ケ崎の自然環境を守ることに繋がれば」と話していました。



EMせっけんを千葉教育長に手渡す会員の皆さん

白鳥を笑顔で観察する子どもたち



越冬39年 赤石堤白鳥観察会

白鳥観察会は2月8日、六原赤石堤で行われました。町内から約40人が参加し、金ケ崎を訪れた白鳥たちを観察しました。昭和56年に初めて白鳥が越冬してから39年を迎え、同観察会実行委員会代表の及川勇治さんは「白鳥が越冬できる金ケ崎のこの環境は地域の宝。これからも守っていききたい」と話していました。

スケートの楽しさを伝える

青山学院大学アイススケート部は2月6日、みどりの郷アイスアリーナでスケート交流会を開催しました。交流会には小学生から大人まで約20人参加し、大学生の丁寧な指導のもと楽しんで滑っていました。町内から参加した榊奏音ちゃん（7）は「滑れるようになってうれしい。また来たい」と笑顔を見せていました。



大学生とスケートを楽しむ参加者

講師とともに笑顔で走る園児たち



幼少期からの運動能力向上へ

町体育協会では2月10日、永岡幼稚園で出前運動教室を行いました。同教室は幼児期から運動に親しみ運動能力向上につながるようにと各幼稚園で年3回程度開催。走る、投げる、跳ぶなどの基本動作を遊びの要素を取り入れながらカラダを動かし、園児たちは夢中でそれぞれの動きに取り組んでいました。